

# イノシシにとって

# 「魅力のない!？」集落づくりの取組支援

県北農林事務所安達農業普及所

## 集落選定の背景

- 管内は南西部に広がる平坦地域と東部の阿武隈高地及び西部の奥羽山脈に広がる中山間地域である。中山間地域では担い手不足や高齢化により、遊休農地や手入れの行き届かない林縁・ヤブ等が増加し、野生鳥獣の通り道ができることで鳥獣被害が増加している。
- 2021年、白髭集落の農地を守るため「農事組合法人白髭」が設立した。



図1 安達管内の地形

### 【白髭集落概要】

耕地面積 11ha（水田7ha、畑地4ha） 住民戸数 24戸（農家戸数 19戸）

## 白髭集落で鳥獣被害対策に取り組むねらい

- 白髭集落ではイノシシの農地被害対策として電気柵が設置されていたが、個人の管理にゆだねていたため機能が十分に発揮できず、水稲のぬたうちや食害等の被害が発生していた。

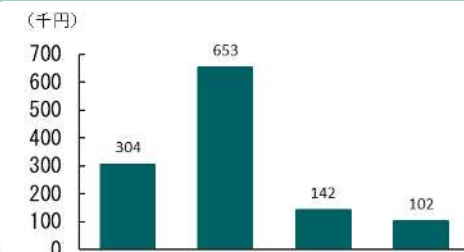


図2 東和地区における野生鳥獣による水稲への被害額

「農事組合法人白髭宿」が主体となり、集落ぐるみでの被害防止体制を構築し、イノシシによる水稲被害を根絶する。

## 活動内容

### 1 モデル集落での活動（令和5～7年度）

#### P：実施計画の検討

- ▶ R5
  - 正しい知識の習得
  - 既存電気柵の設置状況確認と改修
- ▶ R6
  - 農地と藪の境を作る
  - 捕獲に力を入れる
- ▶ R7
  - 集落ぐるみの持続的な取組支援

見える範囲の農地を守る！



図3 検討会の様子

#### D：計画の実施

- ▶ R5
  - 講習会の開催
  - 既存電気柵の設置状況確認
- ▶ R6
  - 緩衝地帯の整備
  - 捕獲用のワナ設置
- ▶ R7
  - 集落だよりの発行
  - 通信型センサーカメラ設置
  - 商用電源柵の設置



図4 集落環境診断の様子

#### C：実施状況確認

- ▶ R5
  - 図5 電気柵周辺の様子
- ▶ R6
  - 図6 ワナ付近の様子
- ▶ R7
  - 図7 通信型センサーカメラ

図7 通信型センサーカメラ

#### A：改善策の立案

- ▶ R5
  - 成果：知識を習得
  - 課題：総合的な対策の実施
- ▶ R6
  - 成果：総合的な対策を実施
  - 課題：農家のみの取組
- ▶ R7
  - 成果：集落ぐるみの取組



図8 振り返りの様子

## 2 モデル集落の取組み周知

- ・チラシ配布  
(配布方法：広報紙)



図9 配布チラシ

- ・現地研修会の開催  
対象：集落営農組織等



図10 現地研修会の様子

- ・子ども塾の開催  
対象：福島市子ども食堂を利用する親子



図11 わなについて学ぶ  
集落住民と子どもたち

## 活動成果

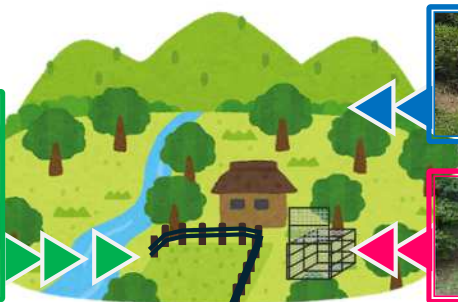
### 1 3つの対策でイノシシの侵入をブロック！水稲被害ゼロ！！

- ・水稲被害額：R4年度 106千円 ▶ R7年度 0円

#### 対策Ⅱ：侵入防止対策 電気柵の運用改善

安全な場所を探しに行こうね

ここ怖いよ  
お腹減ったよ



対策Ⅰ：生息環境管理  
山林と農地の境界に  
緩衝地帯を整備



対策Ⅲ：個体群管理  
イノシシ捕獲用の囲い  
わなを設置

### 2 モデル集落へのアンケートから見えた成果

- ・「掘り起し」の減少からイノシシにとって「魅力のない」集落づくりを支援できた。
- ・モデル集落活動を通して「集落ぐるみの取組の重要性」について理解が深まり、「集落の将来像」を描くことができた。

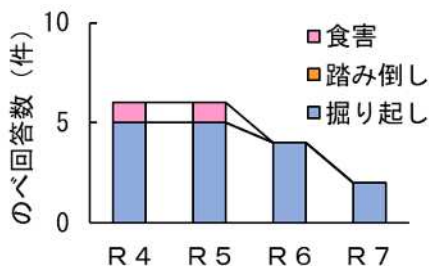


図12 イノシシによる被害状況

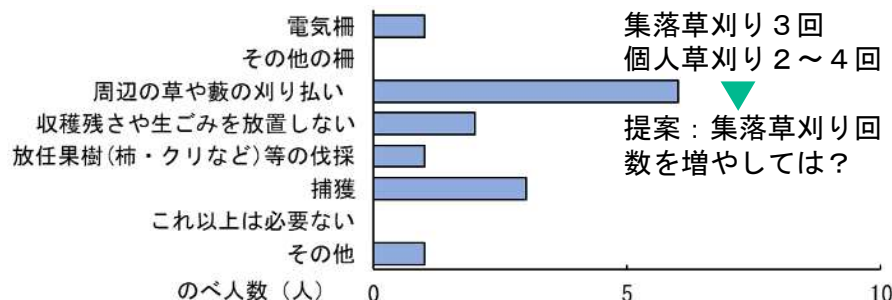


図13 集落として不足している対策 (R7年12月調査)

緩衝地帯に植えた「こぶし」の木の下でみんなで花見をしたい。

農事組合法人白髭宿が主体となり鳥獣被害対策に取り組んできた。集まる機会も増え、活動が更に活発化し、非農家の方も組合に加入した。  
組合員数：R6 12名 ▶ R7 14名 ▶ R8 16名予定



自分たちの息子世代が帰ってきて、孫世代も生まれた。息子たちの世代は、ラジコン草刈り機で草刈りできるようにしたい。

図12 アンケート結果返却時の集落住民の声

## 今後の活動・方向性

### 白髭集落

- ▶ 電気柵の効果を維持させるため、集落共同による取組を支援

### 新たなモデル集落

- ▶ 集落で連携した鳥獣被害対策実施支援
- ▶ 点検・改修できる体制づくり支援

集落でワイヤーメッシュ設置するので支援してもらえないかい？

研修会参加者

普及員

図13 鳥獣被害対策現地研修会の様子